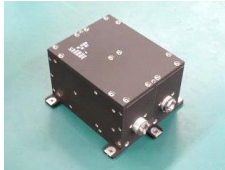


準天頂衛星準リアルタイムグラフ
JAXA様提供



軽粒子観測装置センサ

準天頂衛星「みちびき」の宇宙天気データ配信開始

4月3日、宇宙航空研究開発機構様の宇宙環境計測情報システム「SEES」にて、準天頂衛星の宇宙天気データの配信を開始しました。準天頂衛星「みちびき」は日本版GPSと呼ばれ、2010年の初号機から4号機までが打ち上げられています。

この「みちびき初号機」、「2号機」、「4号機」に、当社の宇宙環境データ取得装置（SEDA）が搭載されています。SEDAは軽粒子観測装置センサ（LPT-S）、磁力計センサ（MAM-S）の2種類のセンサを持っており、衛星搭載装置の誤作動の評価や不具合時の原因究明に資するデータを取得するとともに、取得したデータを衛星設計に反映することを観測の目的としています。宇宙環境計測情報システム「SEES」に軽粒子観測装置センサ（LPT-S）のデータが公開されました。

SEDAのような粒子観測装置は実用衛星に欠かせない装置となりつつあり、今後打ち上げ予定の衛星にも搭載が期待されています。

JAXA様ホームページ
<http://www.kenkai.jaxa.jp/pickup/pickup-2018.html#pickup01>

（担当：宇宙防衛事業部）



ゾンデ試験を見守る現地小学生

トルコ気象局にラジオゾンデ可搬型受信機を納入

この度、トルコ気象局にラジオゾンデ可搬型受信機を納入しました。この装置は観測したい場所へ運んで、高層気象観測を行うことができる機動性に優れた受信機です。すでに当社はトルコ国内10カ所にラジオゾンデ受信機を納入しています。この可搬型受信機の納入により、納入済みの10カ所以外の場所でも観測ができ、さらにきめ細かい高層気象観測が可能となります。

納入時テストにおいては、現地小学生の気象局見学と重なり、日本の製品のすばらしさを紹介する良い機会となりました。今後10,000個のラジオゾンデも納入され、明星電気のラジオゾンデがトルコの空に舞い上がります。

（担当：気象防災事業部）



スマーク伊勢崎



伊勢崎市役所

伊勢崎市内でPOTEKA、QCASTを展示

明星電気本社のある群馬県伊勢崎市内2カ所に、当社製品が展示されています。市役所とショッピングモールスマーク伊勢崎に、市内で製造している製品を紹介するコーナーがあり、市役所にはPOTEKAの気象計、スマーク伊勢崎には緊急地震速報受信ユニットがそれぞれ展示されています。

製品紹介コーナーに展示されている筆記用具、カップ麺、清涼飲料などと同じように、日常生活に欠かせない安全安心に貢献できる製品を、これからも開発・生産していきます。

（担当：総務人事部、気象防災事業部）

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。